報道関係各位

2026年10月7日
「薩摩島津家八〇〇年」広報事務局

開催速報！武家の名門、八〇〇年の歴史を彩る至宝が京都に集結。

京都国立博物館開館130周年記念
特別展「薩摩島津家八〇〇年」開催
2027年10月8日（金）～12月5日（日）／京都国立博物館　平成知新館

京都国立博物館では、京都国立博物館開館130周年記念 特別展「薩摩島津家八〇〇年」を、**2027年10月8日（金）～12月5日（日）に開催**します。巡回は無く、京都のみでの開催です。

薩摩を中心とする九州南部を治めた武家の名門、島津家。戦国時代に同家躍進の一翼を担った義弘（よしひろ）や、幕末に薩摩藩の近代化を牽引した斉彬（なりあきら）など、歴史の重要局面で鍵を握る人物を多く輩出しました。

島津家初代、**島津忠久（ただひさ）（1179～1227）**は源頼朝の落胤（らくいん）とも言われ、出生は謎に包まれていますが、成長すると摂関家、とくに近衛家に仕えました。さらに、頼朝に仕えた忠久は、元暦2年（1185）、島津荘と呼ばれる広大な荘園の現地責任者に任命され、嘉禄3年（1227）に没します。以後、子孫たちは元寇を契機として、南九州に居を構え、長い時を重ねました。

京都国立博物館では、忠久の没後800年をとなる令和9年（2027）秋、**本州では初めてとなる島津家の歴史と文化を紹介する大規模特別展**を開催します。同家伝来の重宝類、各所に所蔵されているゆかりの品々を一挙公開します。どうぞご期待ください。



《 報道関係者お問い合わせ先 》
「薩摩島津家八〇〇年」広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂
TEL：090-6065-0063（馬場）　090-5667-3041（永井）
テレフォンセンター：050-1807-2919　FAX：06-6231-4440　E-MAIL：shimadzu800@tm-office.co.jp

見どころ

1 島津家初代忠久～幕末維新まで、大規模かつ通史的に島津家の事績を紹介する機会としては、**九州以外では初**となります。

2 島津家の歴代資料を所蔵する **島津家歴史博物館 尚古集成館**
鹿児島県の文化財を数多く所蔵する **鹿児島県歴史・美術センター黎明館**
都城島津家の資料を所蔵する **都城島津邸**
の全面協力をいただき、ゆかりの文化財を選りすぐって展示します。

3 **国宝 島津家文書（東京大学史料編纂所蔵）のうち主要文書を展示**、関連する将軍、武将の肖像画なども展示します。

4 海外交易を通した名品や、幕末明治にかけて日本の技術力を示す輸出品として名声を博した薩摩焼の優品、島津家ゆかりの刀剣や甲冑など工芸の名宝を展示します。

主な展示作品



武将（伝島津忠久）像
鹿児島・尚古集成館蔵



紫糸威鎧　伝島津斉彬所用
京都国立博物館蔵



重要文化財　太刀
銘 波平行安（号笹貫）
京都国立博物館蔵



島津義弘像
鹿児島・尚古集成館蔵



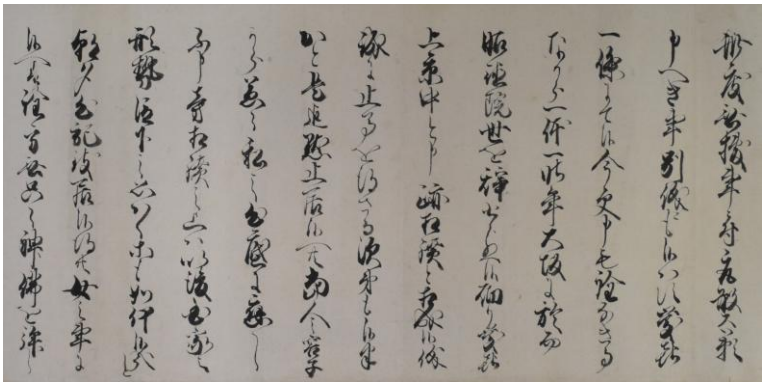
島津家久像
鹿児島・尚古集成館蔵



島津斉彬像　キヨッソーネ筆
鹿児島・尚古集成館蔵



重要文化財　朝鮮国書（部分）
宮崎・都城島津邸蔵



天璋院書状（部分）鹿児島県歴史・美術センター黎明館蔵

開催概要

展覧会名：京都国立博物館開館130周年記念　特別展「薩摩島津家八〇〇年」

会　　期：2027年10月8日（金）～12月5日（日）
会　　場：京都国立博物館　平成知新館（京都市東山区茶屋町527）
主　　催：京都国立博物館、日本経済新聞社、京都新聞
特別協力：鹿児島県歴史・美術センター黎明館、島津家歴史博物館 尚古集成館、
　　東京大学史料編纂所、都城島津邸
後　　援：鹿児島県、都城市、都城市教育委員会
展覧会公式サイト：https://art.nikkei.com/shimadzu800/
※開館時間、休館日、観覧料等の情報は、今後展覧会公式サイト等でお知らせします。

◆本展の詳細の発表は、2027年5月頃を予定しております。

《 報道関係者お問い合わせ先 》
「薩摩島津家八〇〇年」広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂
TEL：090-6065-0063（馬場）　090-5667-3041（永井）
テレフォンセンター：050-1807-2919　FAX：06-6231-4440　E-MAIL：shimadzu800@tm-office.co.jp